

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区麹町4丁目8番26号 ロイクラトン麹町
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホームページ <https://zensuiren.org/>
お問い合わせ info@zensuiren.org
編集・発行 椿本和幸



東京都葛飾区金町浄水場第2取水塔（江戸川右岸）

● 目次

河川愛護月間をかえりみて.....	2
「海岸愛護月間」について.....	3
令和元年度「森と湖に親しむ旬間」実施状況.....	4

河川愛護月間をかえりみて

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課

国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。

本年度においても、「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」を推進標語として、各地方整備局、都道府県、市町村が主体となり、全国各地でポスター、チラシ等による広報活動をはじめ、河川のクリーン作戦、水生生物調査等、多様な活動が、地域住民、河川愛護団体、関係行政機関等の協力を得て実施され、多数の方々の参加をいただきました。

月間中に行われた行事等の成果を踏まえて、今後とも、地域住民、市民団体等と協力した流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、年間を通して、国民の河川愛護意識の醸成に努めてまいりたいと考えております。

また、これらの活動に加え、河川愛護月間推進特別事業として、「川遊び～川での思い出・川への思い」をテーマに絵と文章を組み合わせて描いた絵手紙の募集を9月27日まで行っており、関係機関誌等を通じ、引き続き広く募集活動を行っております。

募集についての詳細は、国土交通省水管理・国土保全局ホームページ中『河川愛護月間』(<http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html>)に掲載しております。



河川一斉清掃



水生生物調査



水辺の安全講習



巡視艇乗船体験

「海岸愛護月間」について

国土交通省水管理・国土保全局砂防部海岸室

7月の「海岸愛護月間」では、「美しく、安全で、いきいきした海岸を目指して」を推進標語として、海岸清掃活動、環境保全・啓発活動、安全・避難訓練、各種イベント等を通じた海岸愛護活動が展開されました(全体で1,546件 約220万人)。

今後とも国土交通省においては、都道府県や市町村等とともに、地域住民、ボランティアの方々の協力を得て、海岸愛護の普及・啓発活動に努めて参ります。

令和元年度 海岸愛護活動実施結果

	実施件数	参加人数 (人)
海岸清掃	1,225	243,544
環境保全・啓発活動	67	6,848
安全・避難訓練	36	6,643
各種イベント	218	1,939,976
合計	1,546	2,197,011



海岸清掃 (宮崎県宮崎市石崎浜)



しらおい夏の海塾(北海道白老町)



海開き (皆生海岸 鳥取県米子市)



ビーチバレー大会 (島根県松江市 小波海水浴場)

令和元年度「森と湖に親しむ旬間」実施状況

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

農林水産省、国土交通省、独立行政法人水資源機構、都道府県、市町村は、人々に森や湖に親しむ機会を提供することにより、心身をリフレッシュし、明日への活力を養っていただくとともに、そうした機会を通して森林やダム湖のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割などを理解していただくことを目的として、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。

本年度も、全国各地のダムやその周辺の森林を会場として、ダム見学会、水辺や森林などの自然とふれあい親しむ教室、森や湖について理解を深めることができるレクリエーション等の行事が開催され、多くの方の来訪がありました。

この中のいくつかのダムにおける、イベントの実施状況を紹介します。

○ ほうへいきょう 豊平峡ダム「豊平峡ダム見学デー」

「豊平峡ダム見学デー」では、普段は一般開放をしていない管理用通路を通り、大迫力の放流を間近で体感することができる見学会を開催しました。見学当日は、天候に恵まれて過ごしやすい気候の中、小学4年生以上を対象とした110名が見学に参加し、「水しぶきが気持ちよかった」、「放流を間近で見学できて良かった」、「子どもがダムの勉強を始めたところなのでダムを知ることができて良かった」、「学生に見てもらって社会勉強にしてほしい」などの感想をいただきました。



ダムの施設見学



観光放流の見学

○ つがる 津軽ダム「～森と湖に親しむ～津軽白神湖まつり」

「～森と湖に親しむ～津軽白神湖まつり」では、ダムの役割や構造を理解していただくことを目的に「津軽ダム見学会」を行い、取水塔、監査廊、コンジットゲート室等を見学していただきました。その他にもカヌーによる湖面巡視体験やダム天端からの紙飛行機飛ばし等を行い、親子連れなど約500名の方が来場し、津軽ダムや世界遺産白神山地の大自然を満喫できる1日を過ごしていただきました。



ダムの施設見学



カヌー巡視体験

○ ^{みやがせ}宮ヶ瀬ダム「宮ヶ瀬ダムフェア」

「宮ヶ瀬ダムフェア」では、観光放流の実施やダム堤体内のゲート設備等を公開し、ダムのスケール感やダム構造等を理解していただく内部見学会を開催し、672人の親子連れの方などが県内外から来場しました。また、関係機関協力のもと愛川第1発電所見学会や職場体験アトラクション、水辺のコンサート等が行われダムを身近に感じる1日を過ごしていただきました。



観光放流の見学



水辺のコンサート

○ ^{おおかわ}大川ダム「若郷湖さわやかフェスティバル2019」

「若郷湖さわやかフェスティバル2019」では、ダムの堤体内や下郷発電所などダムのスケールや構造を実体験していただくスタンプラリー見学会やダム湖巡視体験、降雨体験車体験を行いました。また、森林管理署による木工工作体験教室の他、魚つかみ体験、和太鼓体験、よさこい体験などのステージイベント等が行われ、約1,000人の親子連れの方などが福島県内外から来場され、ダムを身近に感じる1日を過ごしていただきました。



大川ダム・下郷発電所見学スタンプラリー



魚つかみ体験

○ ^{いわや}岩屋ダム「岩屋ダムロックフィルダムフェス」

台風の影響により開催が危ぶまれていましたが、当日の朝には雨も上がり、お昼には晴天、絶好のイベント日和となりました。来場者は415名にのぼり、ダムグッズやご当地グルメを購入し、イベントを楽しむ人々が見られました。

岩屋ダム管理所においては、点検放流や施設見学のほかに、岩屋ダム建設に係わる貴重映像の上映会やダムで実際に使用したパーツなどが当たる「お楽しみ抽選会」を実施し、こちらも多くの方が訪れました。



点検放流の状況



ダムカードフレームを使用した撮影

○ ^{おおたき}大滝ダム「大滝ダム体験ツアー in2019」

「大滝ダム体験ツアー in2019」では、普段は入れないダムの堤体内、ゲート室、ダイナミック広場などダムのスケールの大きさを体験できる特別見学会を開催し、ダムの堤体にチョークでお絵描きができる体験をして頂きました。また、隣接する大滝ダム・学べる防災ステーションでは、西日本最大級である豪雨体験やダムカードを利用したゲームが行われ、計148人の方が来場され、貴重な体験をしていただきました。



ゲート室の見学



ダム本体へのお絵かき体験

○ ^{きん}金武ダム「金武ダムまつり」

「金武ダムまつり」では、ダムの堤体内や操作室など、ダムのスケールや構造を実体験していただく見学会を開催しました。また、水牛車体験や流しもずく、森林管理署の丸太切り体験や森林パネル展示など多くのイベントを開催し、1日で約3,500人の親子連れの方などが来場され、ダムを身近に感じる1日を過ごしていただきました。



ダムの施設見学



流しもずく

国土交通省では、今後とも農林水産省等の関係機関と連携しながら、全国の各地でこうしたダムと森林の役割を人々に広く理解をしていただくための取り組みを推進・充実するとともに、限られた水資源の有効活用や水源地域活性化の推進を図ってまいります。